



©Wataru Yamamoto, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

## 山本 渉「しみ そめ しわ」

会期：2016年1月23日（土） - 2月27日（土）

会場：Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿#206

営業時間：12:00-19:00 定休日：日、月、祝日

オープニングレセプション：1月23日（土）18:00 - 20:00

トークイベント：1月23日（土）17:00 - 18:00

※山本渉×石川卓磨（美術作家、美術批評）

2016年1月23日（土）より、Yumiko Chiba Associates viewing room shinjukuにて、山本渉個展「しみ そめ しわ」を開催いたします。

山本渉は、これまで写真を媒体に多岐に渡る作品展開をしてきました。

熊野古道の原生林の中で、旧道の道なき道をたどりながらセルフポートレートを撮影した「線を引く」、一見美しい彫刻のように見えるが、実は男性用の自慰道具の内部に石膏を流し込み型取りした立体物を撮影した「欲望の形」、降り注ぐ太陽の暖かさをピンホール技術を用いて視覚情報化した「春／啓蟄」など、自己の体験を通じ、様々なアプローチでそれぞれ異なる表現の作品を発表してきました。

しかしながらその本質は一貫して、多様に変化する人間の精神的なイメージとしての自然を記録しようとする試みです。

新作は支持体を印画紙から布に変え、日光写真の技法を用いたものです。

制作のきっかけは、2011年の原発事故後に福島第一原発から約280km離れた神奈川県にある山本の自宅に面した公園で強い放射線量が計測されたというニュースでした。陽当たりがよく心地よい風の吹く公園から、ある日子供が消える—それまでそこにありながら意識されなかったものを形として残すために、山本は人の影そのものではなく、着用した時の服のしわを痕跡として残すことを考えました。

まず始めたのは衣類に感光液をしみこませ、日光にさらすことで着用者の影を捉えることでした。そして、個々のしぐさやくせがそれぞれの体型に応じた影を作り、服の内側から滲んだ汗が像となるのを見るうちに、太陽によって成立する、支持体としての布と記録媒体である感光液との関係にも注目するようになります。

身体の影や汗が密着露光された衣服上には、身近にありながらそれまで意識して感じることもなかった、未知のリアリティが現れます。それこそが、山本のいうところの“視覚情報化”された自然の形象なのでしょう。

また「日の丸」を想起させる丸いしみの中にみえる山脈の鳥瞰図のようなしわの像は、大地の亀裂とも読み取ることができます。これは、昨今の社会状況に対する山本からの皮肉なメッセージにも受け取れるかもしれません。

今回の個展に合わせ、石川卓磨氏（美術家/美術評論）をゲストに迎え、トークイベントを開催致します。この機会に是非ともご覧ください。



## ■オープニングレセプション

日時：2016年1月23日（土）18:00-20:00  
会場：Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku

## ■トークイベント

日時：2016年1月23日（土）17:00-18:00  
会場：Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku  
登壇者：山本 渉 × 石川 卓磨  
※事前申込制、参加費：無料

### 石川卓磨（美術作家、美術批評）

1979年千葉県生まれ。美術作家、美術批評。武蔵野美術大学大学院造形研究科修了。近年の評論に「問うことを好めば即ち裕」（『引込線 2015』[図録]、引込線実行委員会、2015年）「ポストアプロプリエーションとしての写真」（『カメラのみぞ知る』[図録]、ユミコチバアソシエイツほか、2015年）、「戦争と銅版画— 浜田知明の「戦争」画について」（『前夜/前線— クリティカル・アーカイヴ vol.2』、ユミコチバアソシエイツ、2014年）など。

#### 【お申し込み方法】

件名「トークイベント参加」、本文に、参加人数、お名前、電話番号をご明記のうえ、[event@ycassociates.co.jp](mailto:event@ycassociates.co.jp) までメールでお申し込みください。

- \*定員（25名）になり次第、受付を終了いたします。
- \*ギャラリーからの返信メールが届かない場合は、営業時間内にお問合せください。

## ■関連情報

代官山 北村写真機店にて開催される山内宏泰氏のトークイベント「写真を読む夜」に山本渉がゲスト出演致します。

日時：2016年2月5日（金）20:00-21:30  
会場：代官山 北村写真機店  
共催・協力：山内 宏泰（ライター）  
定員：40名（着席25名・立見15名）

#### 【参加方法】

北村写真機店の店頭、もしくはお電話（03-5728-3958）にてご予約をお願い致します。  
お席へのご案内は、ご予約の先着順とさせていただきます。  
お席に限りがございますので、お早めにご予約をお願いいたします。  
\*受付は開始30分前の19時30分から承ります。

#### 【対象商品】

参加費：1,000円（税込）  
\*カウンターにてお支払いいただけます。  
\*立ち見の場合は500円（税込）となります。

※詳しくは、代官山 T-SITE のWEB ページをご覧ください。

<http://real.tsite.jp/daikanyama/event/2016/01/post-55.html>

**■作家プロフィール****山本 渉 (やまもと わたる)**

1986年 栃木県生まれ。  
2013年 多摩美術大学大学院博士前期課程修了。  
2011年 写真新世紀・佳作受賞。

**【個展】**

2014年 欲望の形 -器の濃き影-, NADiff Gallery(東京)  
2013年 春/啓蟄, Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku (東京)  
2013年 プラタナスの観察, Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku (東京)  
2013年 線を引く Drawing a Line, photographer's gallery (東京)  
2012年 山本渉 展, ギャラリーANOTHER FUNCTION (東京)

**【グループ展】**

2015年 New Japanese Photography, DOOMED GALLERY (ロンドン)  
2015年 LUMIX MEETS / TOKYO 2020 BY JAPANESE PHOTOGRAPHERS #2, IMA CONCEPT STORE (東京)  
2014年 LUMIX MEETS / TOKYO 2020 By Japanese Photographers #2, Yellow Korner Paris Pompidou(パリ)  
2014年 Unseen Photo Fair 2014 "Anima on Photo - Hidden sense of Japanese Photography", Westergasfabriek-Festival Ground (アムステルダム)  
2014年 TOKYO2020, Christophe Guye Galerie (チューリッヒ)  
2013年 LIVING WITH PHOTOGRAPHY, 伊勢丹新宿店(東京)  
2013年 LIMIX MEETS / TOKYO 2020 BY JAPANESE PHOTOGRAPHERS 9, 1 RUE RICHELIEU, HILLSIDE TERRACE / HILLSIDE FORUM (パリ、東京)  
2012年 3331 TRANS ARTS, 3331 Arts Chiyoda (東京)  
2011年 キヤノン写真新世紀 2011, 東京都写真美術館 (東京)  
2010年 126 POLAROID さよならからの出会い, 横浜美術館アートギャラリー (横浜)

**【アートフェア】**

2015年 代官山フォトフェア, 代官山ヒルサイドフォーラム (東京)  
2015年 アート大阪 2015 一般社団法人日本芸術写真協会企画展「写真の力」, ホテルグランヴィア大阪 (大阪)  
2013年 Japanese Contemporary Art Fair "NEW CITY ART FAIR Taipei, Taiwan 2013" (台北)

**【作品集】**

2014年 『欲望の形 -器の濃き影-』 Yumiko Chiba Associates  
2012年 『線を引く』 MCV MCV

【本展に関するお問合せ】 ぜひ貴社にて御紹介くださいますようお願い申し上げます。画像データの御依頼等は下記までご連絡下さい。

ユミコチバアソシエイツ 担当：鈴木

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿#316 [Tel] 03-6276-6731 [e-mail]

info@ycassociates.co.jp [website] www.ycassociates.co.jp [営業時間] 12:00-19:00 [定休日] 日・月・祝日